



よしだつうしん  
**吉田通信**

**第113号**  
**【2024年2月】**

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆お線香の適切な使い方をPOPで◆

お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。まず、この度の令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げるとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、1月8日に東京都文京区にある旧田中角栄邸が全焼する火災がありました。報道ではお仏間から火が出たと、お線香が原因という話になっておりますが、それ以降、吉運堂の店舗に来られるお客様の中で「火は危ない」という印象を持たれた方が多いようです。

実際、火を使わないろうそくの電子ろうそく、火を使わないお線香の電子線香立て、それから防災マットを選ばれるお客様が増えています。

そんな中で実は店舗の社員からこんな声がありました。ろうそくやお線香について、ただ単に火を使うのは危ないから電子のものにしましょうとだけ伝えるのは違うのではないかと。お客様の中には実際にお線香を焚くことが大事だという方もいらっしゃる。とてもいい香りのお線香もあるし、それを安全に使えるようにすればいいのではないかと。

そこで店舗として、お客様にお線香を安全に使っていただくために、その適切な使い方をしっかりお伝えしていこうと、その内容を掲載した商品 POP を作りました。

例えば、お線香が火のついた状態で香炉の外に落ちてしまうことがあります。それは往々にして、お線香への着火不十分が原因です。複数本のお線香を同時に持ち、ろうそくの炎で着火するとき、全てのお線香の先端に十分に着火していません。その状態で束ねて香炉に立ててしまうと、問題が起きる可能性があるのです。着火したお線香だけ燃焼が進み小さくなり、着火不十分のお線香はそのまま。しばらくして、燃焼が進んだお線香から着火不十分の

お線香の根元に火が移り、そこから折れて火がついたまま香炉の外に出てしまう。それを防ぐためには1本1本のお線香を離して立てる必要がある。

こういった情報をお客様にしっかり伝えていきましょう、啓蒙していきましょうと店舗の社員から声があり、現在、取り組んでいるところです。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます。さて、私はここ数年、しっかり歩くことを意識し、1日7000歩という目標を掲げています。2022年は1日平均5197歩でした。それを踏まえ、より歩くことを意識した2023年は1日平均6091歩。1日平均で894歩増えましたが、目標にはまだ1000歩ほど足りません。2024年の1月を終えての1日平均を確認したところ5454歩。ここから盛り返し、1日平均7000歩を目指そうと思います。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前:吉田 竹史(よしだ たけし)  
生年月日:昭和40年8月21日(O型)  
出身地:新潟県白根市(現・新潟市南区)  
経歴:都内の学校を卒業後、証券会社(水戸&ニューヨーク)の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味:上手くないゴルフ、強くない将棋  
(NHKの将棋対局を見ることは好きです)  
家族構成:妻、娘、息子



**吉運堂**



吉田 竹史